

和歌山県 記者発表

令和7年1月28日

関西パビリオン和歌山ゾーン及び催事イベントについて ～2025大阪・関西万博に向けて～

2025年大阪・関西万博開催まで、いよいよ残り約80日となり、各パビリオンの整備はもちろん、オープニングやナショナルデーをはじめとする各イベントスケジュールの具体化も進んでいます。

このたび、本県の関西パビリオン和歌山ゾーン及び各催事イベントの出展・出演内容や日程等について、その概要を下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

1. 関西パビリオン和歌山ゾーンについて

吉本英樹氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）のもと、「和歌山百景—靈性の大地—」をテーマに出展する和歌山ゾーンのコンテンツ概要（以下、①から④）

- ① 空間構成 【別添：P3,4】
- ② 映像コンテンツ 【別添：P5】
- ③ フードコンテンツ 【別添：P6】
- ④ ステージコンテンツ 【別添：P7,8】

2. 関西パビリオン多目的エリアについて【別添：P9】

7つの地域振興局と各地域の市町村が連携して、地域の魅力を発信

3. 共創チャレンジについて 【別添：P10】

7つの地域振興局と県内の大学生等が連携して、地域の魅力創出や課題解決に向けた企画を万博会場でプレゼン発表

4. 催事関係について

（1）和歌山WEEK 【別添：P11】

地場産業等の歴史や技術を世界に発信する催事

（2）和歌山DAY 【別添：P12】

和歌山の歴史文化等の魅力を世界へ発信するステージ

5. 和歌山県万博特設ホームページについて 【別添：P13】

県の万博特設ホームページをリニューアルして内容を充実



担当者	万博推進課 庄司・古川・光成
連絡先	073-441-2703

会場MAP

和歌山DAY

会場：EXPO アリーナ「Matsuri」

共創チャレンジ

会場：TEAM EXPOパビリオン

和歌山ゾーン・多目的エリア

会場：関西パビリオン内

大阪・関西万博 全景図



和歌山WEEK

会場：EXPO メッセ「WASSE」

和歌山DAY

会場：EXPOホール「シャインハット」

「提供：2025年日本国際博覧会協会」

※画像はイメージのため、実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。
また本画像の無断転載・複製は一切お断りします。

1. 和歌山ゾーン（①空間イメージ図）

◆吉本英樹氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）によるプロデュース
和歌山の誇る素材や伝統技法等を活用して空間の構築を進めている。



<関西パビリオン 外観イメージ図>



<関西パビリオン平面図>

1. 和歌山ゾーン（①空間イメージ図）



◇映像タワートーテム【紀州塗り】

- ・筐体は紀州漆器の技術である「紀州塗り」によって仕上げられており、現在は映像機器のセット作業中。

◇中央の展示什器【紀州高野組子】

- ・細かく割った木材を手作業で幾何学模様を組み上げる装飾技法である「紀州高野組子細工」をあしらって制作中。

◇ソファ【高野口パイル】

- ・高野山麓の伝統生地「高野口パイル」を活用して制作中。

◇壁面のアート作品【和歌山をあらわした版画】

- ・県内在住の版画作家により、和歌山の山と海をあらわした版画作品を制作中。版画をデータ化して壁面を飾る。

◇スタッフユニホーム【和歌山ニット・高野口パイル】

- ・伝統ある高品質なニット製品として知られる「和歌山ニット」を活用したオリジナルユニホーム、高野口パイルを活用したバッグを製作中。

◇カウンター天板・椅子【紀州材】

- ・長さ9メートルの大きな天板は「紀州材」を活用しており、「焼杉」の手法を活用して仕上げている。
- ・カウンターと一体となる椅子も、「紀州材」を活用して、吉本英樹氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）のデザインにより製作中。

◇カウンター壁面の押し花アート【県内のこども達】

- ・県内のこどもたちと採取して、制作した押し花を活用して、和歌山県出身のフラワーアーティストである柘早苗氏による押し花アート作品を制作中。

◇フードを提供する器【紀州桐筆筒】

- ・「紀州桐筆筒」の精緻な技術を生かし、プリミティブな森を感じさせるアーティストックな器を製作中。

1. 和歌山ゾーン（②映像コンテンツ）

◆映像クリエイター Yusuke Murakami 氏によるプロデュース

「寛容の精神」をもって、宗教や身分、考え方の違いに関わらず、全てを受け入れ、融合・共存してきた和歌山を熊野詣にならい、「未来」-「過去」-「現在」-「未来・よみがえり」を巡ることで、和歌山や世界や自分を見つめなおす「よみがえりの旅」をビジュアル体験

※多様な価値観を尊重しあう「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとして、世界に発信



MAIN MOVIE 「混ざる・結ぶ」 約25分

01 : FUTURE「未来」 オープニング

期待感、始まり感、霊性感を演出。光のゆらめきや鼓動や色など、何かが生まれるような世界を表現

02 : PAST「過去」 曼荼羅・縁起絵巻の世界

この章では、和歌山の自然や歴史をひもとき、火山やジオから始まり、過去の歴史（曼荼羅・縁起絵巻など）をめぐる

例) 曼荼羅・縁起絵巻、和歌の聖地、安珍と清姫の物語、南方マンダラなど

03 : PRESENT「現在」 和歌山百景 ～霊性の大地～

「日本人の旅のはじまり」の地と言われている現在の和歌山の姿を、本県を代表する景勝地や祭りなどの実写映像で紹介

例) 和歌山城、高野山、有田みかん、熊野三山、南紀熊野ジオパークなど

04 : FUTURE/RESURRECTION「未来・よみがえり」

様々なエレメントが混じりあう幻想的なエンディングにより、「よみがえり」「寛容の精神」を演出し、それぞれのトーテムが様々な宗教やジェンダーやナショナルリティーなどを表現

1. 和歌山ゾーン（③フードコンテンツ）

◆食のクリエイター加藤峰子氏によるプロデュース

県内の老舗和菓子等の職人や果物農家と協力して、紀州の森や里山をイメージさせる特別な一品を考案し、現在、最終仕上げに向けて試作に取り組んでいるところ。

1. 営業形態

運営日	営業時間（予定）	席数	事前予約	価格
常時 (特別企画実施日を除く)	11:00~18:00	9席	必要（※）	調整中

（※）予約は「7日前抽選（来場日時予約をした日の1か月前から8日前まで受け付け）」より受付を開始予定。

2. メニュー（6品セット+ドリンク）

品目	協力店舗名
スイーツ等	四季の味 ちひろ（和歌山市）
	角濱ごまとうふ総本舗（高野町）
	郷土銘菓処 ふく田（御坊市）
	うすかわ饅頭 儀平（串本町）
	京菓子 福田屋菓子店（新宮市）
ドリンク	観音山フルーツパーラー（紀の川市）



県内の和菓子店で試作を行う加藤シェフ

◆特別企画

「和歌山県酒造組合連合会」と「GI和歌山梅酒管理委員会」と協力して、県のお酒を提供する日を設定。

1. 営業形態（特別企画）

運営日	営業時間（予定）	席数	事前予約	価格
毎月第3金曜日、土曜日の2回/月	15:00~20:00	9席	不要	調整中

2. メニュー

日本酒及びGI梅酒の飲み比べ（月毎に取扱うメニューを変更）

1. 和歌山ゾーン（④ステージコンテンツ）

◆様々なテーマに沿った期間（ウィーク）を設け、和歌山の魅力的なコンテンツを提供するステージ。登壇者・日程を決定して、吉本英樹氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）と展示内容等の調整を進めている。

カテゴリー		概要	実施日程
テーマウィーク	オープニングウィーク	万博の開幕を飾る特別コンテンツ 各地域の祭りを集中的に展開し華やかな雰囲気演出。	4/13(日) -19(土)
	コマーシャルウィーク	公募で選定した和歌山ゆかりの方による地域の魅力を表現。	5/3(土)-5/18(日) 9/11(木)-22(月)
	世界遺産ウィーク	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録記念日を中心に、熊野と高野山にちなんだ、書家、能楽師を招き、日本文化とともに深い精神性を伝える。	7/6(日)-19(土)
	クロージングウィーク	万博の閉幕にふさわしく、和歌山の根底に流れる利他の心を巨大な折り紙で表現したマンダラ～神仏習合のフィナーレにより次代へのメッセージを繋ぐ。	9/30(火)-13(月祝)
レギュラーウィーク	スピリチュアル/ルーツ/インクルーシブを軸に、和歌山の精神性を表現する上質で多様なコンテンツを展開。 テーマウィーク開催期間以外で実施。	テーマウィークを除く期間 ※原則週替わり 4/20(日)-5/2(金) 5/19(月)-7/5(土) 7/20(日)-9/10(水) 9/23(火)-9/29(月)	

1. 和歌山ゾーン（④ステージコンテンツ）

【吉本英樹氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）：選定】

<p>【オープニングウィーク】 4月13日-4月19日</p> <ul style="list-style-type: none">和歌祭り祭り渡御（祭り衣装・面） <p>【世界遺産ウィーク】 7月6日-7月19日</p> <ul style="list-style-type: none">書（柏木白光）kumano / koya能楽（鈴木啓吾） <p>【クロージングウィーク】 9月30日-10月13日</p> <ul style="list-style-type: none">まんだらプロジェクト華道高野山&高野山声明熊野古道絵巻	<p>【レギュラーウィーク】 4月</p> <p>13日～ 【オープニングウィーク】</p> <p>20日～ THE ROOTS -醤油-</p> <p>27日～ 共通巡礼（熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステーラ）</p> <p>5月</p> <p>3日～ 【コマーシャルウィーク】</p> <p>19日～ 御燈祭(おとうまつり)</p> <p>26日～ 合気道と植芝盛平翁</p> <p>6月</p> <p>2日～ 華道高野山&高野山声明</p> <p>9日～ 黒竹（田辺竹雲斎）</p> <p>15日～ 那智の扇祭り</p> <p>22日～ 熊野観心十界曼荼羅（絵説き）</p> <p>29日～ 奥熊野太鼓</p>	<p>7月</p> <p>6日～ 【世界遺産ウィーク】</p> <p>20日～ "ROSE"～丹生都比売神社 舞楽曼荼羅供から～</p> <p>27日～ 紀州備長炭</p> <p>8月</p> <p>3日～ 紀州てまり</p> <p>10日～ 中上健次とアート（屏風）</p> <p>17日～ 紀州へら竿</p> <p>24日～ お身代わり仏像</p> <p>9月</p> <p>4日～ エルトゥールル号・トルコとの交流の原点</p> <p>11日～ 【コマーシャルウィーク】</p> <p>23日～ 南方熊楠</p> <p>30日～ 【クロージングウィーク】</p>
---	---	--

【コマーシャルウィーク：公募】

<p>5月3日 スタジオぼこ・あ・ぼこ</p> <p>4日 中西富一工房</p> <p>5日 (一社)海南市観光協会</p> <p>6日 「ARTと悟り」実行委員会</p> <p>7日 新宮市</p> <p>8日 県立箕島高等学校</p> <p>9日 ALL ARIDA協議会2025</p> <p>10日 有田・下津地域世界農業遺産推進協議会</p> <p>11日 「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会</p> <p>12日 紀南エリアサイクルツーリズム協議会</p> <p>13日 有田川町</p> <p>14日 キクロン(株)</p>	<p>5月15日～海南海草地方広域観光協議会</p> <p>17日 紀の川市観光協会</p> <p>18日 紀の川エリア観光サイクリング推進協議会</p> <p>9月11日 (株)山本勝之助商店</p> <p>12日 (株)ヴィンテオ</p> <p>13日 KIYORA和歌山 大阪関西万博実行委員会</p> <p>14日 紀州へら竿和人</p> <p>15日～高野町西細川地域おこし協力隊</p> <p>17日 榊葉雅楽会</p> <p>18日～日高川町</p> <p>20日～アドベンチャーワールド</p>
---	---

3. 共創チャレンジ

◆万博会場への参加及び日程が決定

日 程：2025年5月3日（土）～5月5日（月）

※大阪・関西万博「テーマウィーク」のテーマのうち、「未来への文化共創ウィーク（伝統芸能、地域活性化、観光、文化芸術など）」の期間中（4月25日（金）～5月6日（火））にあわせて参加。

場 所：万博会場Team Expoパビリオン

内 容：7つの地域振興局と県内の大学生等が連携して、地域の魅力創出や課題解決に向けた企画を万博会場でプレゼン発表

出展日程	振興局	出展テーマ
5月3日（土）	西牟婁振興局	熊野古道 大辺路への誘客促進
	東牟婁振興局	移住者受入れ先進地における持続可能な地域づくり
5月4日（日）	海草振興局	国道370号の利用促進
	那賀振興局	紀の川エリアサイクリングによる誘客・周遊促進
5月5日（月）	伊都振興局	高野山麓地域の周遊観光促進
	有田振興局	有田川町清水地域への誘客促進
	日高振興局	「和食の源流は日高にあり」を世界に発信

※ 2000年7月、和歌山県内の大学等高等教育機関が、連携・協力することによってその知的資源を結集し、地域社会のより一層の発展に貢献することや加盟機関のさらなる魅力の発揮を目指して設立。
参考：高等教育共創コンソーシアム和歌山HP <http://www.consortium-wakayama.jp/>

■参考：これまでの取組

5月19日（日）キックオフ会議

・高等教育共創コンソーシアム和歌山※の学生約50名が公募等により参加



7チームがそれぞれが地域活動を実施



11月4日（月）中間報告会

・全チームが集まり地域活動等を報告

11月27日（水）

TEAM EXPO 2025 MEETING（大阪）

・全チームが登録して、万博参加に向けてプレゼンテーションを実施

12月20日（金）

Team Expoパビリオン参加内定通知 10

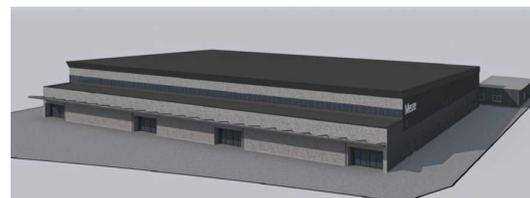
4. 催事関係（和歌山WEEK）

◆（1）和歌山WEEK：催事名を決定してイメージパースを作成

開催日：2025年4月30日（水）～5月3日（土）

場所：EXPO メッセ「WASSE」

内容：地場産業等の歴史や技術を世界に発信



EXPO メッセ「WASSE」（提供：2025年日本国際博覧会協会）

催事名：「Wow!Wakayama！」

～未来へつなぐ、おどろきの国～

イメージパース：木材を活用したブースを構築



【出展者（11団体）一覧】

「食」

- ① GI和歌山梅酒管理委員会、和歌山県酒造組合
- ② 和歌山県食品産業協議会
（紀州味噌工業組合、和歌山県菓子工業組合、和歌山県漬物組合連合会（ほか））
- ③ 有田・下津地域世界農業遺産推進協議会
みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会
下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会
有田みかん地域農業遺産推進協議会、和歌山県棚田等
保全連絡協議会
高野山・有田川流域世界農業遺産推進協議会
- ④ ALL ARIDA 協議会 2025
- ⑤ 田辺市・梅酒ツーリズム事業実行委員会

「ものづくり」

- ⑥ 和歌山商工会議所
- ⑦ 和歌山ニット
- ⑧ 海南商工会議所
- ⑨ 紀州繊維工業組合、紀北染色協同組合

「その他」

- ⑩ ユタカ交通株式会社
- ⑪ (株)クスベ産業、(株)関西ガード、(株)榎本林業

4. 催事関係（和歌山DAY）

◆（2）和歌山DAY：ステージプログラム進行（案）等を決定

開催日：2025年10月3日（金）

場 所：EXPO ホール「シャインハット」

（ただし、EXPO アリーナ「Matsuri」でのプログラムは別途調整中）

内 容：和歌山の歴史文化等の魅力を世界へ発信するステージ



EXPO ホール「シャインハット」（提供：2025年日本国際博覧会協会）

ステージプログラム進行（案）

1. オープニング

- ・県内高校生による箏曲披露

2. 「Sustainability（持続可能性）」

～次世代を担う子どもたちによる文化芸術の発信～

- ・ミュージカル（りら創造芸術高等学校ほか）

3. 「Spirituality（精神性）」

～心身鍛錬と寛容の精神を発信～

- ・和歌山発祥の武道「合気道」演舞
- ・熊野三山による祭事

4. 「Serenity（静謐さや静けさ）」

～声明・映像・光の共演による平和への祈り～

- ・高野山1200年の光×合唱

5. クロージング

- ・カーテンコール・フィナーレ

会場内にある多目的室での文化発信（案）

- ・県内高校生による美術・写真・書道等の作品展示
- ・来場者が楽しめる文化体験

ステージイメージ



ミュージカル



演舞・祭事



合唱

「巨大スクリーン映像」×「光のパフォーマンス」をあわせて
ダイナミックかつ没入感のある体験を提供

文化発信イメージ



5. 和歌山県万博特設ホームページ

◆万博特設ホームページをリニューアルし、万博会場での催しや具体的なコンテンツに関する情報を追加、万博メイキングムービー※を順次公開するなど内容の充実を図っている。

リニューアル日：2025年1月28日（火）

サイトURL：<https://www.wakayama-kanko.or.jp/expo2025/>



ホームページコンテンツ

- Concept 和歌山百景－靈性の大地－について
- NEWS 県の取組や催事情報に関するニュース
- Contents 和歌山ゾーンを構成する要素である「空間」「映像」「食」について
- Wakayama in Expo 和歌山ゾーン以外の万博での取組について

など

※メイキングムービー

県の準備風景を映像化した「万博メイキングムービー」を発信中。



✓ タイトル

- # 1 上質な和歌山を
- # 2 受け継がれる営み
- # 3 こどもたちの“素敵”
- # 4 「混ざる」と「結ぶ」
- # 5 和菓子文化をもう一度
- # 6 #和歌山から万博を盛り上げよう
- # 7 (タイトル未定)
- # 8 (タイトル未定)
- # 9 和歌山百景

✓ 公開日

- R6.9.25
- R6.10.31
- R6.11.12
- R6.12.18
- R7.1.14
- R7.2月上旬
- R7.2月下旬
- R7.3月上旬
- 万博開幕直前

✓ 内容

- ：吉本氏から、ハード整備の様子と思いを紹介
- ：吉本氏から、県民参加の準備風景を紹介
- ：柗氏から、こども押し花ワークショップを紹介
- ：村上氏から、トーテム映像展示準備の様子を紹介
- ：加藤氏から、飲食エリアのレシピ準備の様子を紹介
- ：課員から、行ってきた機運醸成イベントの様子を紹介
- ：学生から、共創チャレンジ（地域×学生）の様子を紹介
- ：課員から、万博期間中の催事イベントの準備風景を紹介
- ：吉本氏から、準備すべての様子について、直前のコメント